

上位関連計画
(総合計画、都市計画
マスタープラン、
立地適正化計画)

**地域公共交通
網形成計画**

連携・整合

評価・検証を
踏まえ継承

公共交通の課題

①社会情勢の変化に伴う課題

- 人口減少と高齢化への対応
- 自動運転化や新たな情報技術の利活用
- カーボンニュートラルへの取組み

②市民ニーズに係る課題

- バスの利用ニーズへの対応
- 公共交通に対する地域や市民の関心が低下

③公共交通事業における課題

- バスの利用者減
- 経営改善への対応
- 公共交通サービスの維持・確保

基本方針1
鉄道・BRT・路線バス及び地域内交通が連携した、公共交通ネットワークの構築

- 鉄道、BRT、幹線路線バス、地域幹線バス、生活路線バス、地域内交通が鉄道駅や乗継拠点で相互に連携することで公共交通ネットワークの形成を目指す。
- 国庫補助路線(地域幹線系統、地域内フィーダー系統)を維持する。

基本方針2
地域特性や利用者ニーズに応じた公共交通サービスの提供と持続性の向上

- 日常的な移動(通勤、通学、買物、通院等)に対応できるよう、各交通モードの役割や地域特性に応じたサービスの提供を目指す。
- 費用負担の在り方検討や地域が支える仕組みの検討により、公共交通サービスの持続性の向上を目指す。

基本方針3
誰もが外出しやすい公共交通の利用支援の促進

- 公共交通の必要性が高い主体が、公共交通を利用しやすくなるための支援やバリアフリーの推進により、誰もが公共交通を利用しやすい環境を目指す。

基本方針4
関係主体の協力による公共交通の利用促進・情報提供の充実

- 関係主体(地域、日立市、交通事業者、企業、学校、商業施設等)が協力して公共交通の利用促進に取り組む。

基本方針5
デジタル化の推進やカーボンニュートラルに配慮した公共交通サービスの充実

- BRTとその周辺の路線バスへ面的に自動運転技術の導入を促進する。
- デジタル技術を活用したサービスの展開や情報発信により、自家用車から公共交通への転換を目指す。
- 電気バスやEV車両の導入を促進し、環境負荷の軽減を目指す。

目標1
拠点間(鉄道駅)や居住地(山側団地や住宅地)と拠点を結ぶ公共交通ネットワークの利便性を向上する。

- <評価指標>
- ✓ 市民1人あたり公共交通利用回数

目標2
適切な運行見直しや国・県・日立市・交通事業者・地域の連携により、効率的・効果的な公共交通サービスを提供し、持続性を向上する。

- <評価指標>
- ✓ モード別の収支率、補助控除後の収支率
 - ✓ 公共交通に対する市民1人あたり日立市補助額

目標3
誰もが外出しやすい公共交通の実現のため、移動需要に応じた公共交通利用支援策を実施する。

- <評価指標>
- ✓ 高齢者お出かけ支援事業の販売枚数
 - ✓ 高校生通学定期券購入助成の適用月数

目標4
地域・交通事業者・日立市等の連携により、公共交通への市民の関わりを増加させ、利用促進に取り組む。

- <評価指標>
- ✓ 主体別の利用促進策の実施回数

目標5
全国に先駆けて乗務員が乗車しない自動運転レベル4を実現し、生産性とサービスの持続性を向上する。また、デジタル技術活用により、公共交通の利用しやすさ及びわかりやすさを向上する。

- <評価指標>
- ✓ 自動運転車両の導入台数
 - ✓ デジタル技術を活用した公共交通に関する情報発信の取組の実施件数
 - ✓ 電気バス・EV車両の導入台数

施策1 公共交通ネットワーク形成

- ひたちBRTの延伸検討
- 効率的なバス路線・ダイヤ・経路の見直し

施策2 各交通モードの連携

- 交通結節点・待合環境の整備

施策3 各交通モードの再編・見直し

- 地域モビリティの導入等、地域の特性に合った移動手段の検討
- 効率的なバス路線・ダイヤ・経路の見直し(再掲)

施策4 公共交通サービスの持続性確保

- 地域内交通(みなみ号、なかさと号、地域モビリティ)の現行サービスの見直し
- 地域内交通に関する市の補助基準・ルールの検討

施策5 学生の通学支援

- 路線バス通学定期券助成
- 小中学校再編に伴う公共交通での登下校対応

施策6 高齢者や障害者の外出支援

- おでかけ支援事業の推進
- 運転免許返納支援事業の推進
- 交通バリアフリーの推進(UDタクシー、ノンステップバスの導入促進)

施策7 公共交通利用促進

- パートナーシップ事業の推進
- 関係主体によるモビリティマネジメントの実施
- 公式HPやSNSでの情報発信

施策8 自動運転の実装

- ひたちBRT・路線バスでの自動運転の実装

施策9 環境保全の取組

- 電気バスやタクシーEV車両の導入推進

施策10 利用しやすさの改善

- キャッシュレス決済の普及促進
- 茨城MaaSの取組促進

施策11 わかりやすい情報提供

- リアルタイム運行情報(遅延・混雑の情報)の提供
- 駅やバス停でのデジタルサイネージによる情報提供

<参考> 公共交通の課題

公共交通の課題

社会情勢の変化に伴う課題

人口減少と高齢化への対応

- 人口も世帯数も減少している。
人口 2014年:19.0万人→2022年17.1万人
世帯数 2014年:8.3万世帯→2022年8.2万世帯
- 年少人口割合も生産年齢人口割合も減少している。
年少人口 2014年:12.3%→2022年9.8%
生産年齢人口 2014年:60.2%→2022年56.9%
- 高齢化率は増加しており、人口密度が低い山側団地や西部地区では高齢化率が40%を超える地区も存在する。
市の高齢化率 2014年:27.5%→2022年:33.2%
・高齢者の運転免許自主返納が今後増加する恐れがある

自動運転化や新たな情報技術の利活用

- ひたちBRTでは2018年度から自動運転の実証運行に取り組み、専用道でのレベル4での定常運行を目指している
- 2023年10月にみなみ号へAIオンデマンド交通を導入
- 市や交通事業者と連携し、茨城MaaSに取り組んでいる
- 茨城交通では、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済の導入に取り組んでいる

カーボンニュートラルへの取組み

- 近年、SDGsに代表される環境問題に関する取組みが世界的に進展。我が国においても環境的に持続可能な交通手段として、公共交通の活性化や利用促進が求められている。
- 本市では2050年までに「温室効果ガス排出量実質ゼロ」に挑戦することを表明している
- このため、環境負荷の軽減に資する取組みを推進し、ゼロカーボンシティの実現を目指す必要がある。

市民ニーズに係る課題

バス等の利用ニーズへの対応

- <市民アンケート>
- 日常的な外出
 - 通勤と通学の目的地は市内が8割、市外が2割
 - 買物と通院はほとんどが市内の施設を目的地にしている
 - 免許のない・返納した人は買物や通院の外出頻度が低い
 - バスの利用
 - バス停から5分以上かかる回答者が4割
 - バスの低頻度利用者と非利用者は、多くが自家用車を利用
 - バスを利用しない(しづらい)理由は、バス停の遠さや運行本数の少なさを挙げる回答者が多い。
 - タクシーの利用
 - タクシーは、年数回の利用が回答者の3割であり、目的地への直接の移動や好きな時間での利用が多い

- <バス利用者アンケート>
- 往復利用しない利用者が3割
 - 運行本数、運行時間帯の満足度は高いが、定時性、運賃、バス停環境、車内環境、情報案内の満足度は低い

公共交通と地域や市民との関わりの薄れ

- <市民アンケート>
- バスを利用し支えるべきと考える人の割合は網形成計画策定時から減少。
 - バスの運行・維持が難しい地域における公共交通のあり方は、網形成計画策定時よりも「市が費用負担」または「非運転者に限り市が移動手段確保」の回答割合が増加。
 - 市民が地域の公共交通を利用し持続させることへの意識の希薄化が懸念
 - 網形成計画策定時と比べて住民が組織的にバスを維持する取り組みに対する肯定意見が増加

公共交通事業における課題

バスの利用者減少・経営改善への対応

- 人口減少やアフターコロナの行動変容(テレワークの定着)等が影響し、利用者数は減少傾向(19年度→21年度)

ひたちBRT	445千人	→	424千人
茨城交通	2,857千人	→	2,063千人
椎名観光バス	36千人	→	28千人
なかさと号	5.7千人	→	3.4千人
みなみ号	4.4千人	→	2.3千人

公共交通サービスの維持・確保

- ひたちBRT
- 2021年度は国庫補助の控除後も事業者負担が発生
- 路線バス(茨城交通運行路線)
- 国庫補助と日立市補助だけでは運行経費を賄えず、事業者負担が発生(補助控除後収支率:28%)
- 補助控除後の事業者負担が発生する路線は増加
2019年度:16路線→2021年度:21路線
- 路線バス(椎名観光バス運行路線)
- 日立市補助により運行を維持してきたが、2021年は全路線で事業者負担が発生(補助控除後収支率:33%)
- なかさと号・みなみ号
- 運行地域の人口減や高齢化の進展を背景とした運行支援体制(地域主体の運行、地域による費用負担)の継続が課題
- 地域モビリティ
- やる気や課題意識のある地域が主体的に移動支援を行っているが、既存公共交通との棲み分けや連携に課題
- バス全般
- 運転士不足の深刻化により、コロナ前の水準に需要が回帰しても、サービス水準(路線数、便数)を戻すことが困難
- 2024.4から運転士の労働時間改善(改善基準告示)が予定